

令和6年度版 町田デザイン&建築専門学校
学校関係者評価委員会報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【実施状況】

・専門分野における業界関係者、卒業生、接続のある学校関係者等から組織される学校関係者評価委員会を開催し、自己評価報告書に基づき、委員に評価・意見を求めた。指摘された改善点や意見、あるいはその後の学校運営の進捗により必要となった課題については検討を行い、対応を進める。

◆開催日時 令和7年5月16日（金）13：30～15：40

◆開催場所 町田デザイン&建築専門学校 3号館103 号室

◆参加者

学校関係者評価委員

選出区分	氏 名	役 職
地域団体	細野 泰司	町田相模原経済同友会 代表幹事
学校関係者代表	天野 雅秀	光明学園相模原高等学校 校長
卒業生代表	鴨志田 功	株式会社エンテ 代表取締役社長

学校側教職員

役 職	氏 名
理事長	井上 博行
教育部長代理兼渉外部長代理	菅野 修
教育部次長	竹中 創
渉外部次長	井比 敏紀
法人本部	市川 正人

【委員会次第】

- 1) 開会
- 2) 理事長挨拶
- 3) 学校評価の目的と経緯
- 4) 自己評価報告と各委員からのご助言・ご意見
- 5) 閉会



【評価基準項目ごとの学校関係者評価・意見】

項目		内 容
教育 理念・ 目的・ 人材 育成	報告	・令和6年度は建築専門課程において、全国初となるリフォーム特別研修を一般社団法人全国リフォーム合同会議と連携し、48コマ・9日間かけて行った。座学と実学実習を行い、多くの協力企業に参加して頂いた。 ・実学実習においては、建学の精神第1項並びに第3項に基づき、専門技術の基礎を学びつつ、地域の産業と文化の発展に寄与する人材を育成している。 ・健康長寿社会・フレイル予防対策のため、新規に専修学校を設置予定。現在、その在り方を各級会議にて報告している。
	意見	・全国初のリフォーム特別研修が行われたそうだが、どのような関係で実現できたのか。
	回答	・建築人材を育成するために、企業様からお声掛けを頂き、実践する事が出来ました。学生は先輩社会人・職人の方々の姿勢を見て、建築業界のすそ野の広さを実感すると同時に、社会人としての人間力を高める事の重要性並びに基礎基本の大切さを学びました。
学校 運営	報告	・令和7年4月より私立学校法の一部改正を踏まえ、令和6年11月理事会評議員会にて寄附行為変更議案を上程、可決承認の上、東京都へ申請。令和7年1月28日付で認可されました。 ・行政機関への届け出においては、法令に従い届け出を行うようにマニュアル整備を行う事とします。
	意見	・寄附行為の変更について、今度どのような手続きが必要なのか。 ・行政機関への届出は必要不可欠である。徹底してほしい。
	回答	・令和6年11月の理事会評議員会にて、寄附行為変更の議案を上程し、ご可決頂きました。今後は寄附行為に沿った役員の選任を行うことが必要です。理事会においては理事1名の追加、評議員においては選任条項の変更が具体的な手続きとして必要になってきます。 ・人事異動に伴い、一部書類の提出が滞っていました。ご指摘通り、改善を図り、法令ならびに規則を順守してまいります。
教育 活動	報告	・学科の新設及び統合を機会に3ポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）の改定を行った。 ・教育の質向上を目指し、全学科に対して前期及び後期授業終了後に授業評価アンケートを実施した。このアンケートを基に授業の進め方の改善に役立てる事が出来ている。 ・令和6年度においては、全国初のリフォーム特別研修を48コマ9日間、企業主体で授業を行った。

意見	・ 学生への授業評価アンケートについて、年間 2 回実施は有益なことであると考えられる。アンケート内容がわからないが、前半と後半との比較ができるようであれば改善進捗状況が把握できる。素晴らしい取り組みであると思う。 ・ 学生への自信を持たせる活動は、自身の肯定感の向上につながり、出来ることの可能性がより広がるものと考えます。今後とも実行してもらいたいと思う。 ・ これからの社会で必要とされる資質の中で、「聞く力と質問できる力」は最重要と思います。コミュニケーション能力は「相手を尊重し、傾聴する。そして、自分の意見をわかりやすく発信すること」であり、傾聴して確認や質問などを繰り返し、相手の意見や要望を正しく理解することは大切なことと考えます。 ・ 卒業後の学生の働き方や企業の要望を聞き入れる活動を継続している。地域企業との密接な関係は続けていただければと思います。 就職に対する 3 者面談を実施して、保護者の意見と本人の意見の相違が無いように対応して頂けている。 ・ 卒業生の活躍などの把握に努めることは有意義なことではあるが、本校でもなかなか悩ましい状況で、人手を割くことが後回しになってしまう。 ・ 大学の通信制の学科と、貴校との指導内容の違い（ストロングポイント）を希望者へ示すことが大切であると感じる。HP での宣伝が良いのかどうか。 ・ 教員の資質向上を狙った研修が大切であり、技術の進歩が速いので、社会の波に乗るのに苦勞をする（専門学校であれば高校以上に大変そうである）。 また、学生の質も変わってきていることと思う。メンタル面も含めての対応に理解が必要である。
----	---

回答	・学科アンケートについては、1 学科のみ行っていたものを令和 6 年度より全学科で実施致しました。質問内容は次の通りです。 Q1.授業は計画的に進められているか、Q2.授業の進行速度、Q3.教員の説明の丁寧さ・わかりやすさ、Q4.教科書・プリントやデータ等、教材配布の適切さ、Q5.ホワイトボード・モニター等の使い方の適切さ、Q6.課題の量・提出期限の適切さ、Q7.提出物に対するフィードバックの適切さ、Q8.教員への質問のしやすさ・質問への対応の適切さ、Q9 授業の総合評価、Q10.その他自由記述 Q1～Q9 について、それぞれ 5 段階評価（強くそう思う、そう思う、どちらともいえない、そう思わない、全くそう思わない）で行っています。 なお、各質問項目においても文字数制限を設けて自由記述をしております。 この結果に関しては、全体会分科会にて学科長から非常勤講師へと結果を配布し、授業改善に役立てています。 ご指摘のように、前期に指摘された項目を後期にどれだけ改善できたか、学生にとってどの程度良い影響が発生したのか比較は出来ておりません。 ・学生の成長に対して自信を持って様々なことに前向きにチャレンジできるよう学生サポートを進めてまいります。小さな成功体験を積み重ねて自己肯定感を高めるような取り組みを増やしてまいります。 ・傾聴と合わせて、相手の意見や考えを受容することも含めて、自身の意見を伝えることでよりコミュニケーション力が高まると考えております。学内の活動の中でより多くの機会を作ってまいります。 ・卒業生の来校や企業様との面談で有益な情報をいただくことも多く、それらを就職指導や保護者面談に活かしております。 ・今後各学科から SNS で発信をする機会を多くしてまいります。その活動の中で卒業生とつながる機会も増えてくるものと思っております。その上で同窓会や個別でつながっている職員のネットワークを活用し、卒業生との繋がりを構築していきたいと考えます。 ・卒業生の活躍や状況に関しては、卒業生と直接連絡を取ることや企業様との情報交換で把握に努めております。また昨今では SNS による情報発信で情報を得ることも多く、さまざまな角度から情報収集を行っております。 ・当校の通信制の学科のストロングポイントはスクーリングや細やかな学生サポートが挙げられます。その質を向上させてまいります。併せて今年度ホームページのリニューアルを実施致します。SNS での発信も併せて認知拡大を進めます。 ・法人としては年 4 回教職員研修会を実施しております。研修会のテーマとして 4 分野（経営・情報・教育・渉外）を定めております。直近では、映画「二宮金次郎から学ぶ 一円融合」と題し、実施しました。その他令和 6 年度においては、①渉外 昭和第一学園 学生募集について、②教育 神奈川県教育委員会より高等教育の現状、天野先生より高等学校と専門学校の連携、③経営 令和 5 年度決算状況並び令和 6 年度の上半期決算につて、④情報 HP リニューアル、学生募集計画、SNS 対策についてを実施しました。今後は受け身の姿
----	--

		勢から能動的な姿勢、研修会で学んだ事を自分の職場にどのように活かす事が出来るのか、職員が学び続ける研修会にしたいと考えております。 ・年間4回の研修を法人主催で行っています。併せて各分野で開催される研修やイベントへの積極的に参加も取り組みに含めたいと考えます。令和6年度は東京ゲームショーに参加する企業・学校が集まるイベントに当校も参加しました。学生指導に関する面や今後増える可能性のある留学生の対応についても検討してまいります。
学修成果 基準4.	報告	・学則変更により附帯教育事業の項目を追加し、WEB・CGアニメーション科並びに建築専門課程を卒業した卒業生に対して、学び直しができるように体制を整えた。成果として、建築研究コースにおいては、2級建築士に4名中2名が合格した。 ・デザイン専門課程においては、資格取得ではなくコンペティションにおける実績を重ねることで、自信につながる。 ・建築専門課程については資格取得目標を設定し、卒業までに4つの資格を取得するよう学生に働きかけている。
	意見	・就職関係はとても熱心に行われている。就職率の向上（100%に近い）や、新規開拓も含めて、積極的であると感じられる。建学の精神が着実に行われていると思う。
	回答	・専門的な知識の修得とあわせて、人間性豊かな人材育成を行い、社会人としての資質も身に付けられるように進めてまいります。 ・有難いお言葉ありがとうございます。常に学生ファーストの精神で、学生の夢を叶えられるよう、目標が達成できる企業へ就職ができることを第一に建学の精神を念頭に邁進して参ります。
学生支援 基準5.	報告	・就職支援については、キャリアセンターが中心となり、就職活動の支援体制を敷いている。具体的には、学科担任とキャリアセンターとの連携を図り、カリキュラムに就職関連授業を導入し、担任とキャリア担当の2人体制で履歴書の書き方、面接指導を行うなど学生一人ひとりに手厚い就職指導を行っている。 ・心理面、学習面での指導としては、予約制ではあるがカウンセリングを受けられる時間とスペースを確保している。 ・金銭面においての退学を防ぐため、延納・分納制度および日本学生支援機構の奨学金説明会の実施や本校独自の減免制度を随時実施している。

意見	・グローイングアップゼミについて参加人数の増加を試みていただけると良いと思います。受講することで就職活動に対する意識が変わりますので、特に担任の先生より深いご理解が重要と考えております。 ・経済的な問題で修学が困難な家庭が増加しているのは肌で感じます。支援制度等の周知を引き続き行う必要が有ると感じます。留学生が増加傾向にあるのは他校でも同じだと思います。それぞれの専門学校で行っている対応を把握して検討してみても良いかと思います。 本校には留学生はいませんが、外国人籍の生徒は数名おります。修学旅行などの対応に苦労します。 ・「上場企業への内定率向上を目指す対策を講じる必要性」とあります。根本的に学生の上場企業に就職したいという気持ちは薄いですが、コメントにあるように保護者はいかが考えているのでしょうか。例えば保護者説明会で改めて上場企業に就職するメリットをお伝えすることが解決策の一助になると考えます。 ・中途退学者の防止対応を学生に寄り添って行っている。カウンセリングも実施しての体制で本人や保護者との面談を通して退学の防止につながればと思います。 ・「再就職、キャリアアップ等について卒業後の相談に適切に対応しているか。」とありますが、キャリアセンターを中心に随時行っていると承知しております。今後は弊社も積極的にキャリアセンターと連携を図りたいと思っております。
回答	・グローイングアップゼミについて、現状開講時間が 15:20～17:00 で任意参加となっており、アルバイトをしている学生は参加が難しい状況となっております。今年度は開講時間なども含め再検討いたします。 ・国の支援制度（奨学金）を利用する学生数は年々増加傾向にあります。また、学園独自の支援も加えて進めております。留学生指導に対しては学事課が中心となり教育部と連携して支援を行います。他校の取り組みも参考にまいります。 ・上場企業に就職するメリットは就職指導授業で周知しております。また保護者就職説明会にて保護者様にもお伝えしております。本学の就職指導としては、学生が得た知識をもとに後悔の無い就職活動をモットーとしております。また学生一人ひとりが自分自身の就職活動に納得することが大切だと考えています。さまざまな選択肢の中から、夢を叶え、目標が達成できる道を選ぶよう引き続き尽力して参ります。 ・学校指定カウンセラーを配置し学生対応を進めております（本校非常勤講師予約制、その他 SNS を利用したカウンセリングを実施中）。保護者への学生状況の連絡や面談の機会も設けております。学生の変化に迅速に気づき対応できるように教育部と連携して進めてまいります。 ・毎年数名の卒業生が転職や再就職の相談に来ております。その都度個別面談を行い、継続的にサポートしております。

教育環境 基準 6.	報告	・令和 6 年度においては 1 号館の LAN 工事の実施し、インターネットの接続不具合環境を改善します。 ・機器購入の平準化を進めるために、PC 機器の買切りからリースへの購入方法に変更します。 ・令和 6 年度は図書寄附を企業から募り、蔵書確保に努めました。また、5 号館ラウンジに図書棚を設置し、学生が本に親しむ機会を創設しました。
	意見	・デジタル分野の学問を進めるためには、LAN 整備は早々に行うべきだと考えます。5 号館の LAN 工事について計画はありますか。現在の取り組み状況を教えてください。 ・学生が図書に触れる機会を創設することは人間力の向上だけでなく、読解力・集中力・コミュニケーション能力を高めるために必要不可欠です。設置状況を教えてください。
	回答	・1 号館の LAN 工事は令和 6 年 4 月に行い、改善を図ったところです。また、5 号館については令和 7 年度の夏期研修期間中に改修工事を行う予定で進めています。なお、これらについても費用の平準化を図るために割賦契約にての工事を進める予定であります。 ・図書室は 1 号館に設置されています。5 号館利用の昼間学科及び通信制の学科の学生が本に親しむため、ラウンジに本棚を設置する事が最善であると考えました。専門書籍のみならず、一般教養書籍も配架し、人間力形成に努めてまいります。
学生の募集と受入れ 基準 7.	報告	・学生募集に資するホームページの改定や SNS 発信の強化に向けて研修会を行い、アイコンの統一や投稿頻度について各課統一した取り組みを実施する。新たなホームページは令和 7 年上旬に公開予定である。 ・通信制の学科においては大学の通信制が開講しており、募集に苦慮している。本学の強みである面倒見の良さと対面でも指導を強化し、募集に努める。
	意見	・本学の通信制と大学の通信制では何か異なるのか。 ・学生募集において、前年度を下回る結果となったが、次年度以降の対策は。
	回答	・大学の通信制との違いにおいては、①編入が可能であること、②スクーリングの必要がないこと、③学費が廉価である事の 3 点があげられます。しかしながら、本学はスクーリングの開拓者として、面倒見の良さを強く出し、過去の実績を踏まえ、大学及び企業への訪問を強化させるなど、4 つの戦略を練り、次年度募集活動に備えます。 ・昼間学科については、3 年間を見込んでの募集計画を策定しております。ガイダンスの強化・HP 更新並びに SNS 活用の強化を行い、情報発信力並びに魅力向上を掲げ、高校 1 年生の時から継続して本学の体験入学に参加し続けるよう企画しています。その中で、SNS 強化策については率先して行い、HP の公開は令和 7 年上旬を予定しております。
財務 基準 8.	報告	・学園収入のほぼ 90%以上が生徒納付金となっております。昨年は体験入学者数の減少が募集に影響を及ぼしました。 ・令和 7 年度においては、HP の改定並びに SNS その他イベント情報の強化等により、学生募集の強化を行い、学納金を向上させる。

	意見	・意見無し
	回答	
法令等の遵守 基準 9.	報告	・関係行政機関との連携を強化し、所定の手続きを行い、学校運営を行っている。ネットリテラシーに欠ける点が見受けられたが、対策を行うことが出来ていない。ガイドラインの作成等実施したいと考えている。
	意見	・意見無し
	回答	
社会貢献・地域貢献 基準 10.	報告	・夏期研修期間において、地域団体、高等学校、大学、一般社団法人などと連携し、子供たちへのものづくりへの興味を引き立てる事業に参加している。 ・トルコまんがオンライン講座を開設し、国際交流を図った。
	意見	・意見無し。
	回答	